

腹部エコーの 見るべき所見

腹部エコー検査は、その依頼理由に応じて病変を見つけること（存在診断）と見つけた病変から診断情報を得ることを同時進行で行う検査です。存在診断で大切なのはスキャンングですが、「見るべき所見」を理解していないと病変の情報を得ることはできません。本シリーズでは、疾患ごとに「見るべき所見」を整理してお話しします。

あなたのスキルアップのために、どうぞお誘い合わせの上、ご参加ください。

講師 ● 鶴岡尚志（三宿病院診療技術部）

テーマと開催予定（時間は全て19時から20時50分）

2018年3月9日（金） ● 閉塞性黄疸

5月10日（木） ● 第39話 胆嚢炎

7月19日（木） ● 第40話 膵炎

9月20日（木） ● 第41話 消化管、炎症を中心に

11月（未定） ● 第42話 水腎症

2019年 1月（未定） ● 第43話 脾臓とリンパ節の病変

会場 ● オリンピック記念青少年総合センター センター棟
会場(部屋)はホームページでご確認ください。

参加費 ● 2000円

パスポート ● 第39話から第43話の5回分を6000円で受講できます。事前申込が必要です。3月9日のチャリティでは使えません。

予習資料 ● 参加する方は予習資料をホームページからプリントしてご持参ください。会場での資料頒布はいたしません。

※参加する方は必ずシーズン2のホームページをご覧ください。

<http://season2.in.coocan.jp/index.htm>

主催：NPOシーズン2

後援：超音波検査法フォーラム